

はじめに

福島第一の廃炉に向けた作業に従事いただいている各企業さま、作業員の皆さまにおかれましては、日々ご尽力いただきまして誠にありがとうございます。また、この度はお忙しい中、労働環境改善に関するアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。今回のアンケートでは、皆さまの現在の労働環境に対する受け止めや、更なる改善要望など、ご意見を数多くいただきました。ご意見・ご要望の内容と、今後の改善の方向性などをまとめましたのでお知らせいたします。

■アンケート実施方法■

対 象：福島第一の作業に従事する全ての方
(東電社員を除く)

方 法：無記名式

期 間：2024年9月19日～10月15日

回答者数：5,498人 (5,816部配布, 回収率94.5% 前回比-1.5%)

アンケート結果の概要

全体概要

今回のアンケート結果における主なポイントは以下の通りです。

- 今回のアンケートでは、新たに「設問3 現場作業中の気づき等」に関する設問を設け、「気付いたことをいつでも言える環境」が続いているかをお伺いさせていただきました。その結果、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答いただいた方が8割を超える結果となりました。当社としては、「何かあったら立ち止まる」「気付いたことはお互いに言い合える」という環境を大切にし、引き続き作業員のみなさまとともに安全最優先で取り組んでまいります。
- 今回のアンケートでは、昨年に引き続き「問5 放射線に対する不安」についてお伺いしたところ、ご不安を感じると回答された方が前回アンケートと比較し増加しました。これについてはいくつかの要因が考えられるものの、関連設問では、特に「身体汚染」についてご不安を感じると答えた方が増加しており、2023年に発生した身体汚染に係る事例等がその一因となっている可能性があります。当社として、作業員のみなさまに大きなご不安を抱かせてしまったことについて、大変重く受け止めております。作業員のみなさまに安心して作業いただくためには、当社はこのようなトラブルの発生を徹底して防止することが肝要であり、引き続き作業員のみなさまとともに安全レベルの更なる向上に努めるとともに、福島第一の作業環境についてより一層理解を深めていただけるよう、放射線防護に係る教育テキストの見直しなどの取り組みを行ってまいります。

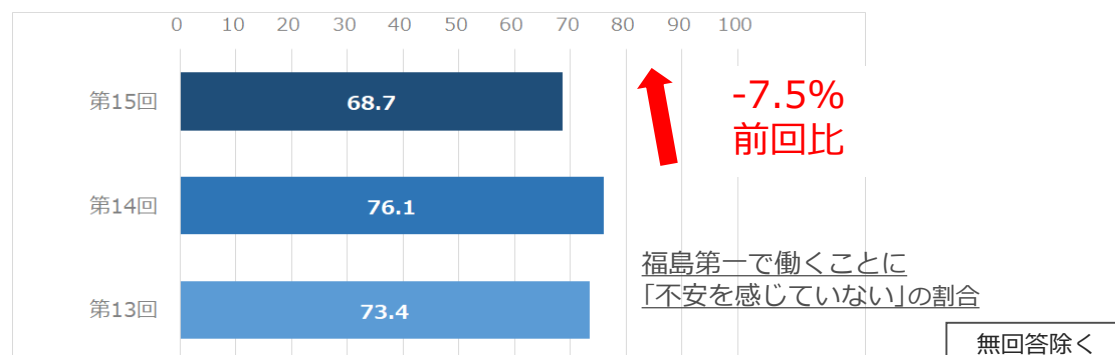
現在の労働環境、現場作業中の気づき等に対する評価（問1～3）

- 「福島第一の共用施設（例：共用道路、共用駐車場、入退域管理施設、救急医療室（ER）など）について、安全や衛生・健康管理の観点からの満足度」をお伺いしたところ、52.7%の方々に「満足」「まあ満足」と評価をいただきました。
- 「休憩所の快適さについて」お伺いしたところ、69.1%の方々に「快適と感じる」「まあ快適と感じる」と評価をいただきました。
- 「現場作業中の気づき等について」におきましては、「立ち止まる」の認知については、98.1%の方々が「知っている」「聞いたことがある」と評価、「気づき」を言える環境の是非は、82.3%の方々が「そう思う」「だいたいそう思う」と評価、安全意識の向上有無は、90.0%の方々が「大いに向上した」「多少向上した」と評価をそれぞれいただきました。

福島第一で働くことへの不安について

（問4）

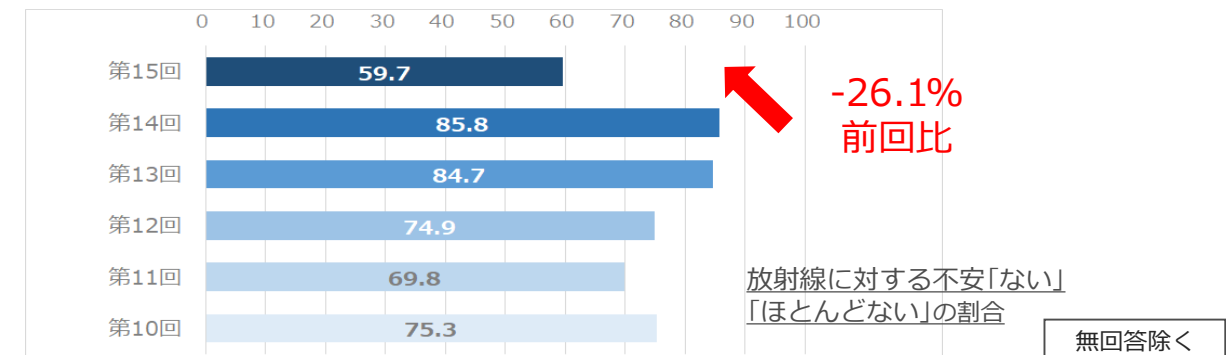
- 福島第一で働くことに対して「不安を感じていない」と回答された方が68.7%となりました。この回答について、前回から-7.5%となり、働くことへの不安が増加していることがわかりました。



放射線に対する不安について

（問5）

- 放射線に対する不安が「ない」「ほとんどない」と回答された方が59.7%となりました。これらの回答について、前回から-26.1%となり、放射線に対する不安が増加していることがわかりました。

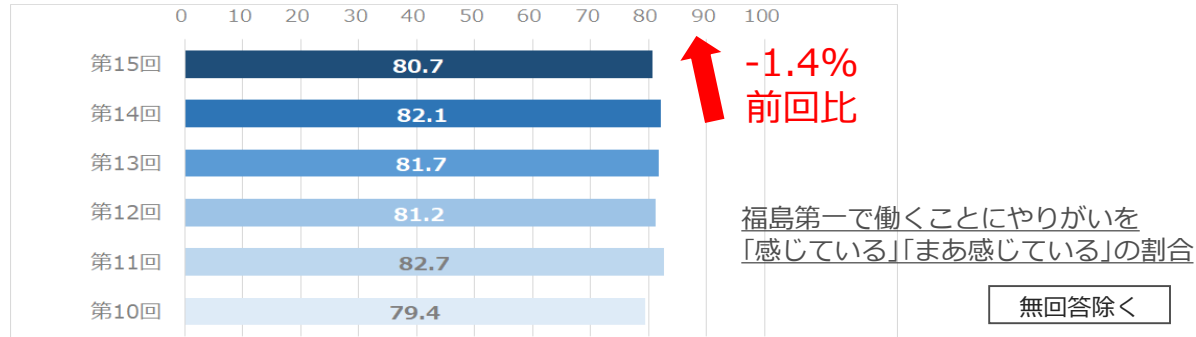


アンケート結果の概要(つづき)

やりがいについて

(問6)

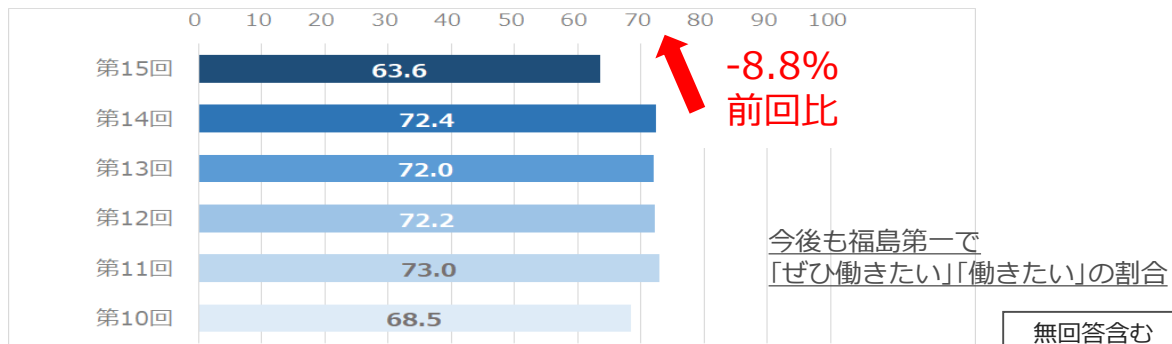
- 福島第一で働くことに対してやりがいを「感じている」「まあ感じている」と回答された方が80.7%となりました。これらの回答について、前回から-1.4%となりました。



就労希望について

(問7)

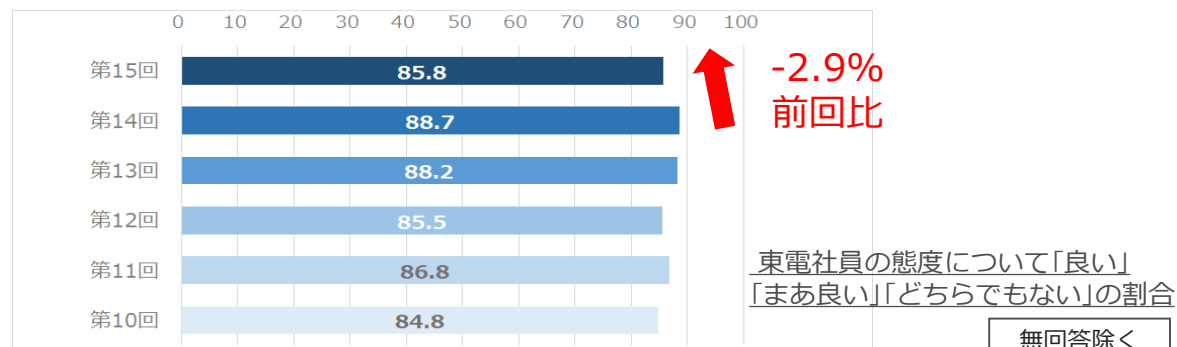
- 今後について、引き続き福島第一で「ぜひ働きたい」「働きたい」と回答された方が63.6%となりました。これらの回答について、前回から-8.8%となりました。



東電社員の態度/作業員同士の挨拶について

(問9)

- 東電社員の態度について、「良い」「まあ良い」「どちらでもない」と回答された方が85.8%となりました。これらの回答について、前回から-2.9%となりました。



- また、福島第一において、82.3%の方々が、同じ環境の中で働く皆さまに対し、お互いを尊重しあいさつをしていると回答しております。

廃炉作業の情報の入手等について

(問10)

- 廃炉作業の進捗状況やトラブル等の情報の入手については、52.2%の方々が「テレビ」又は「インターネットニュース等」と回答しており、次いで「所属する企業からの情報」「東電からの情報」と回答されております。

就労実態について

- これまで本アンケートでお伺いしていた、「雇用企業以外による直接業務指示の懸念」(偽装請負懸念)「事実と反する労働条件(手当等を含む賃金、労働時間等)に関わる疑問」等については、ご回答者さまの個人情報やご意見が確実に守秘される必要があり、よりご意見をいただきやすい形として、労働基準法等の法令に関するパンフレットおよびご相談用のはがきを同封でお配りし、そちらにて労働条件等に係るご意見をお送りいただく方法に見直しを行いました。
- この見直しに伴い、本アンケートからは労働条件に係る疑問等に関する設問を削除し、期限を設けずご相談はがきによりご意見をお伺いすることといたしました。
- 就労形態に関する個別の相談については、18～20頁で相談窓口をご案内しております。また、アンケート配布時に同封の法令関係パンフレットでもご案内がございますので、ご確認ください。

その他

- 2024年度は、労働基準法等の法令に関するパンフレットへの相談はがきの添付に加え、アンケートの設問と回答用紙の分離等、ご回答いただきやすくなるよう様々な改善を実施いたしました。しかしながら、回答方法が分かりづらい等のご意見もいただいておりますので、今後の更なる改善に向けて、いただいたご意見を踏まえて引き続き検討してまいります。
- 今後も、福島第一の施設環境変化を把握するとともに、アンケート結果やエコーへのご意見の内容など、皆さまからのご意見・ご要望にしっかりと耳を傾け、労働環境改善に努め、「安心して働きやすい職場」作りに取り組んでまいります。
- 元請企業と双方向の対話を行い、アンケート結果だけでは見えない作業員の皆さまの要望を吸い上げ、福島第一の各主管部に改善を促し、労働環境改善対策に繋がるような新たな仕組みを検討してまいります。

結果の総括

○52.7%の方々が「満足」「まあ満足」と回答されている一方で、18.4%の方々が「やや満足ではない」「満足ではない」と回答されています。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	満足		774	14.4
2	まあ満足		2,065	38.3
3	どちらでもない		1,559	29.0
4	やや満足ではない		628	11.7
5	満足ではない		359	6.7
	集計総数		5,385	100.0

※四捨五入の関係で、合計が100%とならないことがあります(以下同じ)

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

○日頃の現場管理や元請企業からのご要望などに基づき、以下の通り安全・衛生・健康管理に関する改善に努めておりますが、問題と
感じられる箇所がございましたら、当社や元請企業への相談、
エコーボックスへの投書をお願いいたします。
引き続き作業環境の改善を実施してまいります。

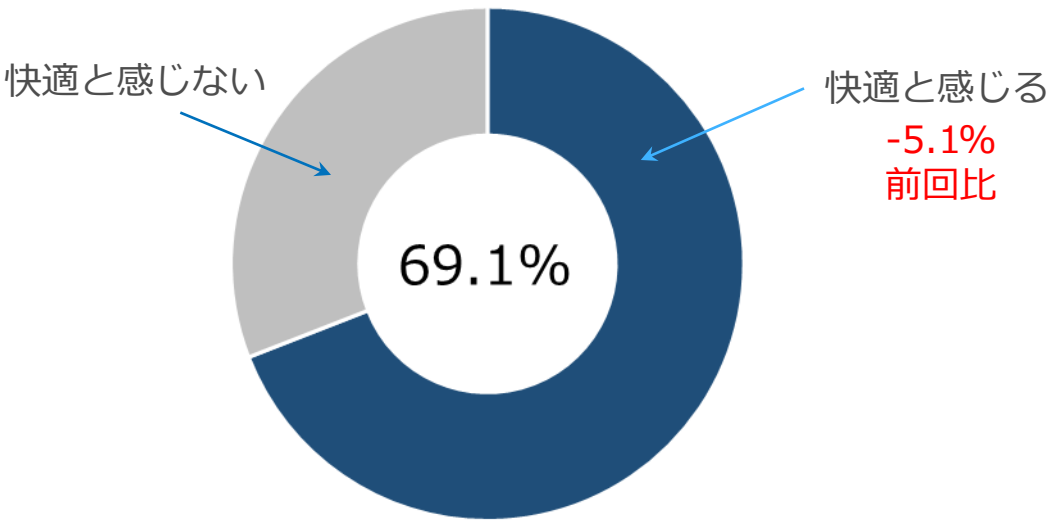
＜対策実施・計画について＞

- ・「トイレやエアコンの故障」について
→不具合連絡をいただいた都度、修理を発注しております。
不具合内容により、納期・除染要否が変わるため復旧が前後する
可能性がございます。
修理完了まで、もう少々お待ちください。
- ・「駐車場の不足」「動かない車両の撤去」等について
→構内の不動車両については、計画的に撤去を進めております。
さくら通り、免震棟前駐車場を優先して不稼働車両移動を実施
しております。さくら通り駐車場については一部大型車を除
き2025年度には移動完了予定です。
引き続き計画的に移動を実施してまいります。
- ・「道路の白線が見づらい」「標識を設置して欲しい」について
→道路の白線引きや看板設置については順次進めておりますが、
ご意見をいただいた箇所について再度調査を2025年1月より
実施し、2025年度中の工事計画を進めてまいります。

アンケート項目・結果の総括

問2 東京電力では、作業員の皆さまの休憩所の整備を進めています。
あなたがお使いの休憩所の快適さはいかがでしょう。

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞



- 以前から計画していたとおり、旧企業センター(A棟・B棟休憩所 周辺)の未整備建物を休憩所として整備してまいります。また、一時的なご利用の際は、共用の休憩所もございますのでご利用ください。
- 休憩所の騒音などのマナーについては、毎月開催している「休憩 エリア調整会」などでいただいた意見を元請企業と共有すると共に、マナー徹底を依頼いたしますので、引き続きご協力よろしく お願いいたします。
- 企業ごとの割当の休憩所につきましては、割当の企業(元請企業)に 管理をお願いしておりますので、当該エリアの課題については、 元請企業にご相談ください。

問2-1 「あまり快適ではない」「快適ではない」とお答えの休憩所の場所はどこですか。
また、理由は何ですか。

n 数	大型休憩所 261	協力企業棟 1 階 144	5・6 号サービス建屋 130	事務本館 2 階 75	旧登録センター 241	企業棟A棟 279	企業棟B棟 173	左記以外の構内休憩所 187
第 1 位	周りが騒がしい 45.2	周りが騒がしい 49.3	狭い 52.3	狭い 58.7	狭い 70.5	狭い 78.5	狭い 76.3	狭い 49.7
第 2 位	空調の効きが悪い 33.3	床が堅く休憩できない 38.9	周りが騒がしい 33.8	周りが騒がしい 38.7	トイレが少ない 32.8	周りが騒がしい 50.2	周りが騒がしい 32.9	周りが騒がしい 30.5
第 3 位	狭い 30.3	トイレが少ない 25.0	空調の効きが悪い 30.8	床が堅く休憩できない 26.7	周りが騒がしい 26.6	空調の効きが悪い 23.3	床が堅く休憩できない 17.9	トイレが少ない 22.5
第 4 位	喫煙所が狭い 20.7	喫煙所が狭い 20.8	トイレが少ない 25.4	喫煙所が狭い 25.3	床が堅く休憩できない 25.3	床が堅く休憩できない 21.1	トイレが少ない 13.3	床が堅く休憩できない 20.3
第 5 位	床が堅く休憩できない 15.7	狭い 18.8	床が堅く休憩できない 22.3	空調の効きが悪い 16.0	空調の効きが悪い 16.2	トイレが少ない 9.3	その他 11.6	空調の効きが悪い 19.8

(上位5位まで)

アンケート項目・結果の総括

東京電力では、昨年以来福島第一原子力発電所にて発生した「増設ALPS配管洗浄作業における身体汚染」、「高温焼却炉建屋東側壁面からの放射性物質を含む水の漏えい」および「所内電源A系停止と負傷者発生」等の災害を受けて、本年5月から6月にかけて福島第一原子力発電所内の全作業に対して、あらためて各作業のリスクを再評価し、安全に実施できることを再確認する「作業点検」を実施いたしました。

その後の現場作業中の気づき等についてお伺いします。

<作業員の皆さまへのお知らせ>

○2024年5月の作業点検以降、昨年度に比べ人身災害については、皆さまの高い安全意識により減少傾向であり、たいへん感謝申し上げます。一方、2024年第1四半期から第2四半期にかけては、人身災害、品質不適合が増加傾向にあります。

○作業エリアや作業対象の危険源を抽出して、それに基づくリスクシナリオを想定し、防護対策を検討していただくリスクアセスメントは、作業員のみなさまの全員参加で今後も継続して実施していただき、安全・品質向上に努めていただきますよう、お願いいたします。

○ただし、全てのリスクを抽出することは難しく、想定外の事象が発生する可能性があります。従って、「いつもと様子が違う」「何かおかしい」などの違和感を感じたら“立ち止まる”、“気がついたことを声に出して伝える”ことで、リスクの顕在化を防いでいただきたいと思います。
現場の危険源を全ての関係者で拾い出し、防護対策を検討することと、何かあったら立ち止まることの励行により、福島第一における作業安全を確保できるものと考えておりますので、ご協力お願いいたします。

問3-1 「何かあったら立ち止まる」、「気がついたことは声に出して伝える」ことを知っていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	知っている		5,019	92.0
2	聞いたことがある		333	6.1
3	知らない		96	1.8
4	その他		5	0.1
	集計総数		5,453	100.0

問3-2 気づいたことなどをいつでも言える環境が続いていると思いますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	そう思う		2,335	42.9
2	だいたいそう思う		2,143	39.4
3	どちらともいえない		730	13.4
4	あまりそう思わない		161	3.0
5	思わない		71	1.3
	集計総数		5,440	100.0

問3-3 作業点検を実施した後、安全最優先の意識の向上はありましたか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	大いに向上した		2,390	44.2
2	多少向上した		2,476	45.8
3	変わらない		502	9.3
4	その他		34	0.6
	集計総数		5,402	100.0

アンケート項目・結果

あなた及びご家族方の不安についてお尋ねします。

問4 福島第一原子力発電所で働くことに不安を感じていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	不安を感じている		1,704	31.3
2	不安を感じていない		3,739	68.7
	集計総数		5,443	100.0

問4-1 不安を感じている理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	被ばくによる健康への影響		927	26.9
2	現場での事故、ケガ、熱中症		629	18.3
3	将来の工事量が見えないため、いつまで働けるかわからない		569	16.5
4	安定的な収入が保証されない		519	15.1
5	震災時のような事故があるのではないか		389	11.3
6	福島第一で働くことに対する世間からの評判		298	8.7
7	その他		67	1.9
	無回答		45	1.3
	集計総数		3,443	100.0

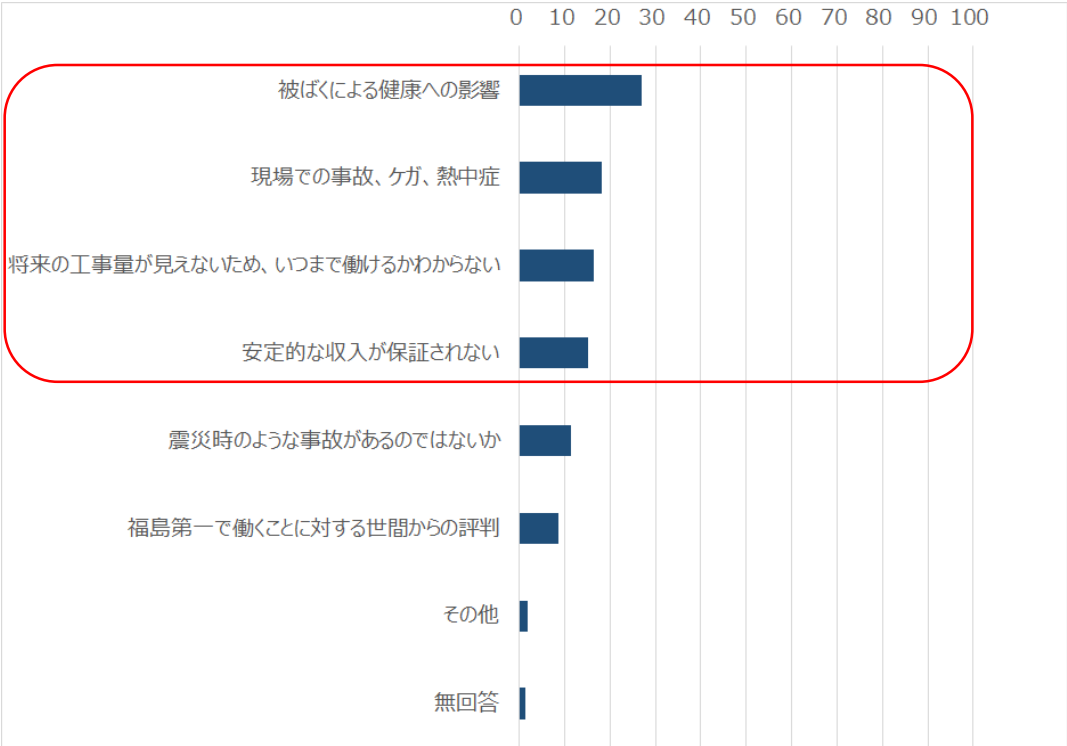
<作業員の皆さまへのお知らせ>

- これまでも、被ばく対策、作業安全については作業計画段階から元請企業とともに検討し、安全確保に努めております。今後も作業員の皆さまの被ばく対策や装備面での負荷軽減を図るべく、放射線管理仕様書の遵守徹底をお願いしつつ防護装備の適正化を実施するとともに、高線量エリアでの被ばく低減対策を検討・実施してまいります。
- 様々な線量低減対策により、徐々に現場環境は改善されてきておりますが、一方で、被ばくによる健康への影響について不安を感じている方がいらっしゃいます。不安を取り除く手段としては、放射線について知識を増やすことや正しく理解することにより、不安が低減するといった調査結果もあることから、適宜、線量についての情報をお伝えしたり、教育などを通じて不安低減に努めるとともに、今後も作業員の皆さまが安全で安心して作業できるよう取り組んでまいります。

結果の総括

- 68.7%の方々が「不安を感じていない」と回答されている一方で、31.3%の方々が「不安を感じている」と回答されています。
- 不安を感じている理由の回答総数(複数回答)は約3400件で、昨年と比べ1,000件ほど増加しています。それら不安を感じる理由のうち、「被ばくによる健康への影響」「現場での事故、ケガ、熱中症」「将来の工事量が見えないためいつまで働けるかわからない」「安定的な収入が保証されない」が回答数の上位4件となっています。
- ※「被ばくによる健康への影響」に関しては「問5 放射線に対する不安について」を、「将来の工事量が見えないためいつまで働けるかわからない」「安定的な収入が保証されない」に関しては、「問7 就労希望について」を合わせてご覧ください。

福島第一で働くことに不安を感じている理由



複数回答含む/無回答を含む

アンケート項目・結果

放射線に対する不安についてお尋ねします。

問5 作業するうえで放射線に対する不安はありますか。

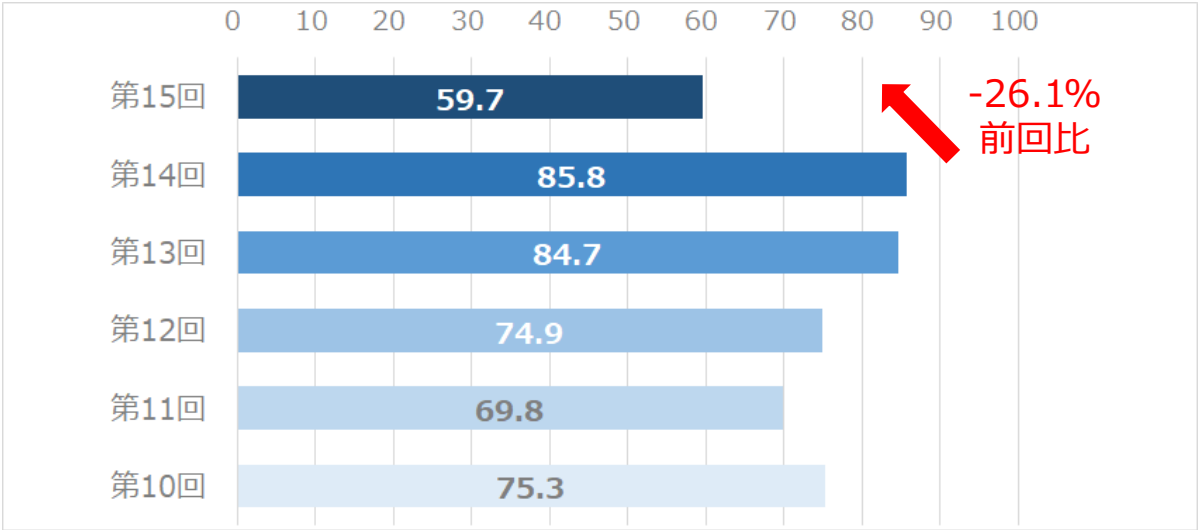
No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	ある		634	12.1
2	多少ある		1,475	28.2
3	ほとんどない		2,052	39.2
4	ない		1,071	20.5
	集計総数		5,232	100.0

問5-1 放射線や汚染に対してどのような不安がありますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	過剰被ばく		613	29.1
2	身体汚染		1,100	52.2
3	顔面汚染		67	3.2
4	その他		83	3.9
	無回答		246	11.7
	集計総数		2,109	100.0

結果の総括

○放射線に対する不安が「ない」「ほとんどない」と回答された方々が59.7%と前回(85.8%)から減少しました。



放射線に対する不安「ない」「ほとんどない」の割合

無回答除く

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- 前回アンケート(2023年7月～8月)と比較し、放射線に対する不安をお持ちの方が増加した今回の結果について、当社として大変重く受け止めております。
- この理由についてはいくつかの要因が考えられますが、問5-1において、特に「身体汚染」についてご不安を感じると答えた方が前回アンケートから増加しており、こうした結果から、2023年10月に発生した増設ALPS建屋での身体汚染や、2024年2月に発生した高温焼却炉建屋東側壁面からの放射性物質を含む水の漏えい等の事案発生がその一因となっている可能性があると考えています。
- 改めて、現場で作業いただく皆さまに対し、ご不安を生じさせてしまったことについて、深くお詫び申し上げます。
- 今後も作業員の皆さまに安心して作業頂くには、このようなトラブルの発生を徹底して防止することが肝要と考えております。
- そのためにも、当社は、作業員の皆さまと共に、発電所の全作業に対して、作業現場の状態を踏まえ身体汚染や計画外被ばくのリスク要因を抽出し、安全レベルのさらなる向上に努めてまいります。
- また、引き続き作業員の皆さまの被ばく対策や装備面での負荷軽減を図るべく、放射線管理仕様書の遵守徹底をお願いしつつ防護装備の適正化を実施するとともに、高線量エリアでの被ばく低減対策を検討・実施してまいります。
- なお、不安を取り除く手段としては、放射線について知識を増やすことや正しく理解することにより、不安が低減するといった調査結果もあることから、適宜、線量についての情報をお伝えしたり、「ふるまい教育」のテキストの改善などを通じて不安低減に努めるとともに、今後も作業員の皆さまが安全で安心して作業できるよう取り組んでまいります。

アンケート項目・結果

働くことのやりがいについてお尋ねします。

問6 福島第一原子力発電所で働くことにやりがいを感じていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	感じている		1,579	29.4
2	まあ感じている		2,749	51.3
3	あまり感じていない		776	14.5
4	感じていない		258	4.8
	集計総数		5,362	100.0

問6-1 やりがいを感じている理由は何ですか。

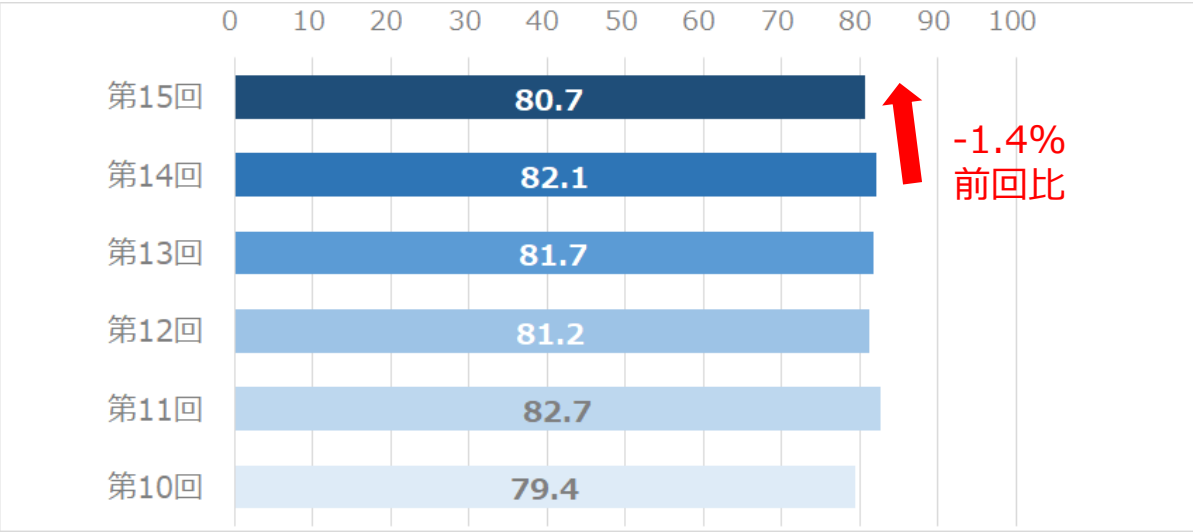
No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	福島の復興、福島第一の廃炉のため(使命感)		2,092	29.4
2	他より賃金がよい		1,184	16.7
3	昔から福島第一で働いている(愛着)		1,129	15.9
4	自分の技術・技能を活かせる		718	10.1
5	達成感が得られる		616	8.7
6	興味がある		584	8.2
7	仕事の進み具合が目に見えてわかる		448	6.3
8	周りの人から感謝される		214	3.0
9	その他		42	0.6
	無回答		77	1.1
	集計総数		7,104	100.0

問6-2 やりがいを感じていない理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	賃金が良くない		466	31.6
2	廃炉作業の中での自分の仕事の貢献度が分からない		407	27.6
3	自分の技術・技能を活かせない		228	15.5
4	仕事に重要性を感じない		212	14.4
5	その他		130	8.8
	無回答		32	2.2
	集計総数		1,475	100.0

結果の総括

○80.7%の方々が「やりがいを感じている」「まあ感じている」と回答されており、前回アンケート結果(82.1%)よりやや減少しましたが、過去5回と同程度で大幅な変化はありませんでした。



福島第一で働くことにやりがい「感じている」「まあ感じている」の割合

無回答除く

アンケート項目・結果

就労希望についてお尋ねします。

問7 今後も福島第一原子力発電所で働いていただけますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	ぜひ働きたい		1,426	25.9
2	働きたい		2,072	37.7
3	どちらでもない		1,299	23.6
4	どちらかといえば働きたくない		404	7.3
5	働きたくない		109	2.0
	無回答		188	3.4
	集計総数		5,498	100.0

問7-1 「ぜひ働きたい」、「働きたい」と思う理由は何ですか。

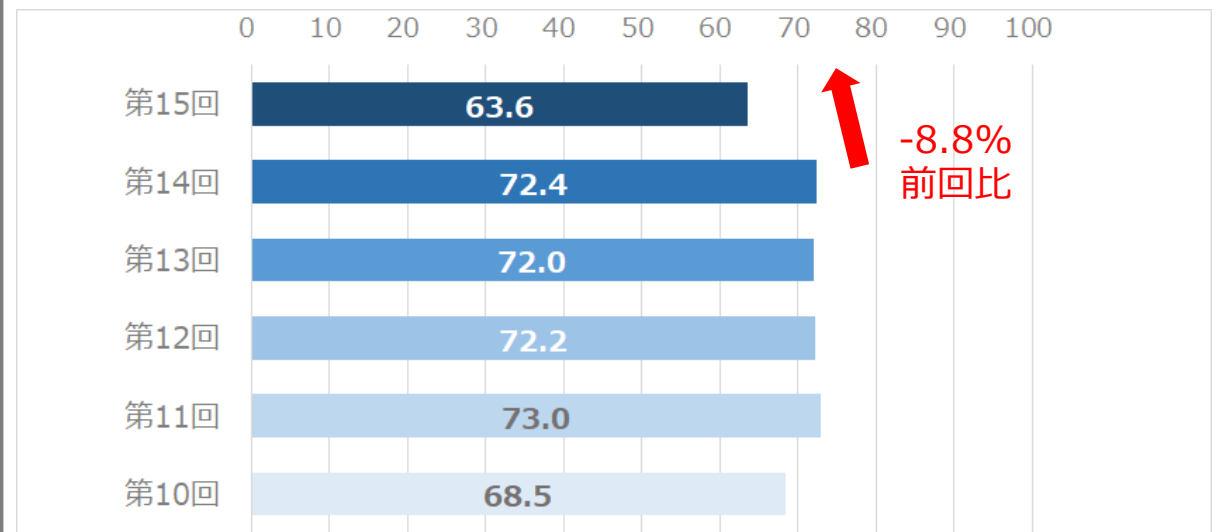
No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	作業内容が自分に向いている		1,467	26.0
2	今後やるべき仕事・作業がある		1,115	19.7
3	賃金（手当を含む）が高い		1,014	18.0
4	家族の元から通勤できる		738	13.1
5	作業が体力的・精神的に楽		621	11.0
6	被ばくに不安がない		324	5.7
7	通勤時間が短い		206	3.6
8	その他		86	1.5
	無回答		75	1.3
	集計総数		5,646	100.0

問7-2 「どちらでもない」、「どちらかと言えば働きたくない」、「働きたくない」と思う理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	作業環境の悪さ、廃炉への貢献度のわりには賃金が安い		220	20.1
2	通勤時間が長い		176	16.1
3	作業が体力的・精神的にきつい		174	15.9
4	作業内容が自分に向いていない		128	11.7
5	今後の仕事・作業が見えない		126	11.5
6	被ばくによる健康への影響が不安		106	9.7
7	単身赴任期間が長い		75	6.8
8	その他		79	7.2
	無回答		12	1.1
	集計総数		1,096	100.0

結果の総括

- 63.6%の方々が福島第一での就労希望に対して「ぜひ働きたい」「働きたい」と回答され、前回(72.4%)より減少しております。
- 働きたくない主な理由としては、「作業環境の悪さ、廃炉への貢献度等のわりには賃金(手当を含む)が安い」「通勤時間が長い」「作業が体力的・精神的にきつい」と回答されております。また、働きたい主な理由としては「作業内容が自分に向いている」「今後やるべき仕事・作業がある」と回答されております。



今後も福島第一で働いていただけますか「ぜひ働きたい」「働きたい」の割合

無回答含む

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- 福島第一の廃炉は、一般的な作業現場以上に全員がお互いを「パートナー」として認識し、力を合わせて進めなければ成し遂げられない事業です。当社は、今後も皆さまに安全かつ安心に長期間働いていただける職場となるよう、日々変化する現場の状況や環境などにも目を向け、労働環境の改善に努めてまいります。
- 廃炉全体の向こう10年程度の主要な工程をお示した「廃炉中長期実行プラン」ならびにこれに基づき今後の発注見通しについてとりまとめた「中長期発注見通し」について、今後も機会をとらえ、皆さまにお伝えしてまいります。

アンケート項目・結果

個人線量計(APD)についてお尋ねします。

問8 2023年9月～現在の期間で、個人線量計(APD)の正しくない使い方を構内で見かけたり、正しくない使い方を指示されたりしたことがある場合は、その時期や詳しい内容を記入ください。

回答の結果

○問8で「2023年9月～現在の期間で、個人線量計(APD)の正しくない使い方を構内で見かけたり、正しくない使い方を指示されたりしたことがある」と記載された内容のうち、正しくない使い方をしたおそれがあるものは、以下の1件でした。

【作業員】さま記載内容	【当社からの注意喚起】
APDの前に保冷剤を入れていたのを見かけた。	APDの前面にモノを置くと、それが遮へいとなって、正確な被ばく線量を測定できないおそれがあります。APDの前面にはモノを置かないようお願いします。

○なお、この1件については、正しくない使い方をしていた雇用企業名は不明であり、当社が構内で上記事象を確認した実績はありませんが、APDの前面にモノを入れないよう、改めて注意喚起を行ってまいります。

○日頃よりAPDと受動形個人線量計(ガラスバッジ・ルミネスバッジ等)(以下、「受動形個人線量計」との線量データの比較を行っており、至近1年間で特異なデータは見つかっておりません。

結果の総括

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

＜APD・受動形個人線量計装着時の注意事項＞

- APDや受動形個人線量計は、表側を外に向けて、男性は胸部、女性は腹部に装着する必要があります。着替え等の際に首から外してしまった結果、装着忘れが過去多発しています。着替え等における被ばく線量を正しく測定するため、APDや受動形個人線量計は、必ず首ひもに掛けて着用し、首ひもは、首から「絶対に」外さないようお願いいたします。また、「セルフチェック」又は「相互チェック」(複数名の場合)で現物確認を確実に実施し、装着状況の確認をお願いいたします。
- 入退域施設の出入管理箇所(APD借用後)で、監視員がAPDや受動形個人線量計を携行していることを確認いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- また、ベータ管理対象エリアもしくはR zone(重汚染エリア)においては、手に滞留水が触れる作業を行う場合は、APD・受動形個人線量計に加えて、末端部用受動形個人線量計(ガラスリング・リングバッジ等)の装着が必要となります。
- 今後も、以下の再発防止対策を実施することで、不適切事象の発生防止に努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。



APD

胸部分が透明なカバーオール

＜主な再発防止対策実施状況＞

- ①【当社】胸部分が透明なカバーオールの導入
(2013年2月25日から継続運用中)
- ②【当社】2019年8月から車両スクリーニング場でのAPDと受動形個人線量計装着状況の確認
(これまでAPDと受動形個人線量計の未装着は見つかっておりません)
- ③【当社】放射線防護教育の継続実施
- ④【当社・協力企業】APD抜き打ち確認
対象範囲を2019年9月より全作業件名に拡大
- ⑤【当社・協力企業】放射線防護のふるまいに関する教育の実施
- ⑥【協力企業】日々のAPDデータの確認
(これまで特異なデータは見つかっておりません)

アンケート項目・結果

東電社員の態度についてお尋ねします。

問9-1 東電社員の態度をどう感じますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	良い		1,431	26.7
2	まあ良い		1,983	37.0
3	どちらでもない		1,181	22.1
4	あまり良くない		600	11.2
5	良くない		158	3.0
集計総数			5,353	100.0

問9-2 「良い」「まあ良い」と感じる理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	あいさつ		2,737	43.6
2	丁寧な対応		1,430	22.8
3	安全を最優先にしている		863	13.7
4	現場によく来る		431	6.9
5	身だしなみ		349	5.6
6	なんでも相談できる		246	3.9
7	廃炉に向け一体感を感じる		205	3.3
	無回答		23	0.4
集計総数			6,284	100.0

問9-3 「あまり良くない」「良くない」と感じる理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	高圧的な態度		414	21.1
2	あいさつ		402	20.5
3	ムリなスケジュールを要求する		314	16.0
4	身だしなみ		229	11.7
5	廃炉に向け一体感を感じない		214	10.9
6	相談しにくい雰囲気がある		211	10.8
7	現場にほとんど来ない		158	8.1
	無回答		19	1.0
集計総数			1,961	100.0

あいさつの実施状況についてお尋ねします。

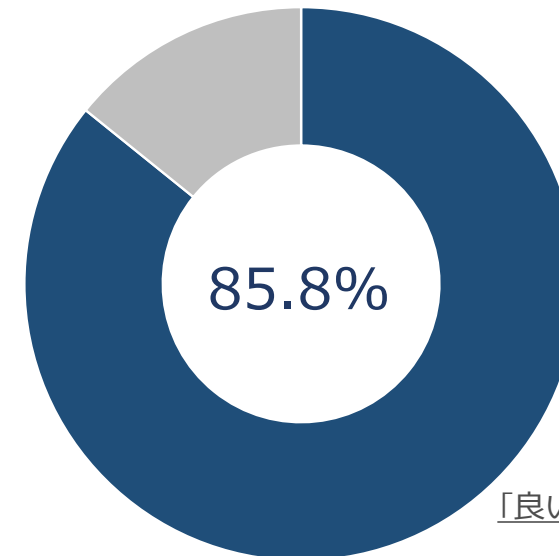
問9-4 あなたは福島第一原子力発電所において、同じ環境の中で働く皆さまに対し、お互いを尊重し、あいさつをしていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	あいさつをしている		4,525	82.3
2	あいさつをしていない		312	5.7
	無回答		661	12.0
集計総数			5,498	100.0

結果の総括

○85.8%の方々が「良い」「まあ良い」「どちらでもない」と回答されております。一方14.2%の方々が「あまり良くない」「良くない」と回答されております。

○「良いと感じる理由」の多くは、「あいさつ」「丁寧な対応」と回答されております。
「良くないと感じる理由」の多くは、「高圧的な態度」「あいさつ」と回答されております。



「良い」「まあ良い」「どちらでもない」の割合

無回答除く

<作業員の皆さまへのお知らせ>

- 「東電社員の態度に対して感じること」では、「あいさつがない」「高圧的な態度」などのご意見をいただいております。
- これまでもあいさつの励行、礼節のある態度、身だしなみなどは、執務を行うに当たっての基本と考え、教育を行っておりますが、皆さまからのご意見を真摯に受け止め、「社外の方々に対してのふるまい」や「自分の言動に対して相手がどう感じるか」など、相手の視点に立って考えることで、自身の行動を見つめ直す機会とするよう、継続して教育を行ってまいります。
- なお、こうした取り組みに関わらず、当社社員と接した際に、社員の態度により不快な思いをされた場合には、当社の企業倫理窓口やエコー等を通じて、ご連絡ください。個別に指導を実施いたします。

アンケート項目・結果

廃炉作業の情報の入手等についてお尋ねします。

問10 あなたは廃炉作業の進捗状況やトラブル等の情報について、どこから入手していますか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	テレビ		3,496	31.7
2	インターネットニュース等		2,264	20.5
3	所属する企業からの情報		2,072	18.8
4	東電からの情報		1,945	17.6
5	新聞		824	7.5
6	ラジオ		268	2.4
7	その他		29	0.3
	無回答		137	1.2
	集計総数		11,035	100.0

問10-1 具体的にどこから入手していますか。

No.	カテゴリー名	【複数回答含む／無回答を含む】	n	%
1	東京電力ホームページ		1,038	30.3
2	廃炉情報誌		692	20.2
3	構内バス待合所などに設置の電子掲示板		671	19.6
4	新聞広告		342	10.0
5	東京電力社員		293	8.6
6	東京電力が発信しているSNS		206	6.0
7	食堂の卓上パネル		168	4.9
	無回答		15	0.4
	集計総数		3,425	100.0

結果の総括

<作業員の皆さまへのお知らせ>

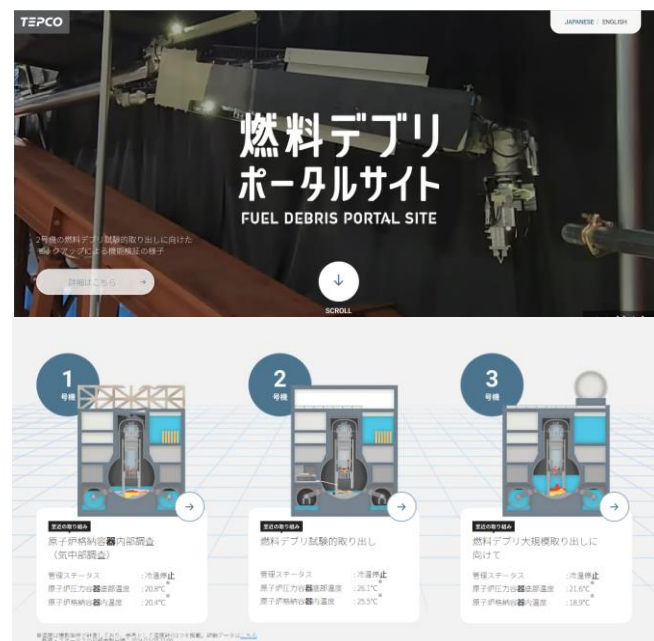
福島第一では、Webサイトや情報誌などを通じて、廃炉の情報をわかりやすくお伝えしています。みなさま、ぜひご覧ください。

○2024年11月、事故後初めてとなる「2号機燃料デブリの試験的取り出し」が完了しました。1～3号機では、燃料デブリの取り出しに向けて、格納容器の内部調査などを実施しています。それらの「燃料デブリ」関連の取組を号機ごとにわかりやすく紹介する「燃料デブリポータルサイト」を開設しました。

○ALPS処理水に関する情報をまとめた「処理水ポータルサイト」では、「放出実績」をはじめとして、「放出前のALPS処理水の測定結果」や「海域モニタリング結果」など、様々なデータや情報をご確認いただけます。

○隔月発行の「はいろみち」では、「廃炉の進捗」をわかりやすくお伝えしています。その中では、取り組み内容に加え、「廃炉に携わる人々の想い」も合わせてご紹介しています。

○Webサイト「1 FOR ALL JAPAN」では、「バスの時刻表」や「安全情報」「本日の食堂メニュー」など、福島第一で働く皆さまへのお役立ち情報を掲載しています。



・ 作業員の皆さまから寄せられた作業改善に向けたご要望・東京電力からの回答・対応ステータス（1/2）			
<u>福島第一の共用施設（例：共用道路、共用駐車場、入退管理施設、救急医療室(ER)など）や、休憩所などについて、東京電力に改善してほしいこと等、具体的にお聞かせください。</u>			
分類項目	改善要望	作業員の皆さまに対する東京電力の回答	ステータス
施設環境 関係	トイレ・エアコンを修理して欲しい。	ご迷惑をお掛けしており申し訳ございません。不具合連絡をいただいた都度、修理を発注しておりますが、不具合内容により納期・除染要否が変わるため復旧が前後する可能性がございます。 修理完了(2025年度上期中目途)まで、もう少々お待ちください。	対応中
	トイレトペーパーホルダーがない。サニタリーボックスを各個室に設置して欲しい。	サニタリーボックスやペーパーホルダーが不足している部分については、2025年1月中目途に、設置いたします。	対応中
	休憩所が狭い。増やしてほしい。	旧企業センターの未整備建物について、休憩所として整備を行います。 また、1～4号機周辺については、1／2号機サービス建屋、3／4号機サービス建屋は2027年3月、HTI脇については2025年6月目途で水飲み・トイレ可能な装備交換所整備を進めております。その中で、トイレ（大）についても対応出来る様整備してまいります。	対応予定
	建屋、現場照明について。 ・ちらつきが目が悪い ・蛍光灯が切れている	ご不便をおかけし申し訳ございません。 いただきましたご意見につきまして、今年度を目途にランプ交換を実施いたします。 また、当該箇所が不明な部分については、パトロール等により確認次第、ランプ交換を実施いたします。	対応予定
通勤・駐 車場関係	道路や駐車場内の一方通行や進入禁止等の表示が分かりづらい。標識やミラーを設置して欲しい。	ご不便をおかけし申し訳ございません。 道路の白線引きや看板設置については順次進めておりますが、ご意見いただきました箇所について再度調査を2025年1月より実施し、2025年度中の工事計画を進めてまいります。 修理完了までご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。	対応中
	構内駐車場の動かない車両を撤去して駐車スペースを確保してほしい。	構内の不動車両については、計画的に撤去を進めております。具体的には、さくら通り、免震棟前駐車場を優先して不稼働車両移動を実施しております。さくら通り駐車場については一部大型車を除き2025年度には移動完了予定です。引き続き計画的に移動を実施してまいります。	対応中
	朝／夜、駐車場が暗くて危ない。照明を設置して欲しい	構外共用駐車場の照明については、2024年12月に修理を行い点灯しております。 ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。	対応済

- 作業員の皆さまから寄せられた作業改善に向けたご要望・東京電力からの回答・対応ステータス（2/2）

分類項目	改善要望	作業員の皆さまに対する東京電力の回答	ステータス
装備・備品関係	防滑長ぐつが不足している。	現場の作業靴については、順次防滑性の靴に入れ替えを行っておりますので、入れ替え完了までしばらくお待ちいただければと思います(2025年度中予定)。なお、大量に防滑性の長靴を使用される場合、保護衣・保護具借用申請を提出いただくことで、予めお渡しすることも可能です。	対応中
	APDのナスカンをとめているリングが変形して、クールベストに引っかかる。	ご不便をおかけし申し訳ございません。APDのナスカンをとめているリングについては、随時交換しておりますが、変形に気づいた際は、チェックポイントに申し出ていただき、別のAPDを借用していただければと思います。	対応済
	・A棟休憩所一般服用出入口側にレインコート回収箱を設置して欲しい。	以前より設置しておりましたが、設置場所を見直しするとともに、レインコートの回収ボックスであることが分かるよう、表示いたしました(完了日:2025年1月6日)。	対応済
熱中症対策	クールベストみたいな感じで下半身も保冷剤で冷やせるなにかが欲しい。	弊社でも福島第一構内作業で適用可能な新たな熱中症対策用品を試行するなどの検討を進めているところでございます。今回のご意見も踏まえ、今後も有効な熱中症対策品の適用拡大の検討を引き続き進めてまいります。	検討中
	夏場作業(高温)の扱い(作業中止や作業時間を発注者から提示)受注者任かせにしないでほしい。	・熱中症予防を目的とした作業中止等の対策につきましては、各工事件名単位に弊社主管Gと元請企業様間の協議にて対策を進めさせていただいている状況でございます。 ・今後も引き続き各工事件名単位で、弊社主管Gと元請企業様間の協議で作業中止の対策を進めていただくよう、熱中症予防対策計画の実施事項として元請企業様へご依頼し熱中症予防に努めてまいります。	対応済
社員の態度	あいさつしてくれる人もいればしない人もいる。 若い社員が特にあいさつしない。	これまでも挨拶の励行、礼節のある態度、身だしなみなどは、執務を行うに当たっての基本と考え、教育を行っておりますが、皆さまからのご意見を真摯に受け止め、「社外の方々に対してのふるまい」や「自分の言動に対して相手がどう感じるか」など、相手の視点に立って考えることで、自身の行動を見つめ直す機会とするよう、継続して教育を行ってまいります。	継続対応

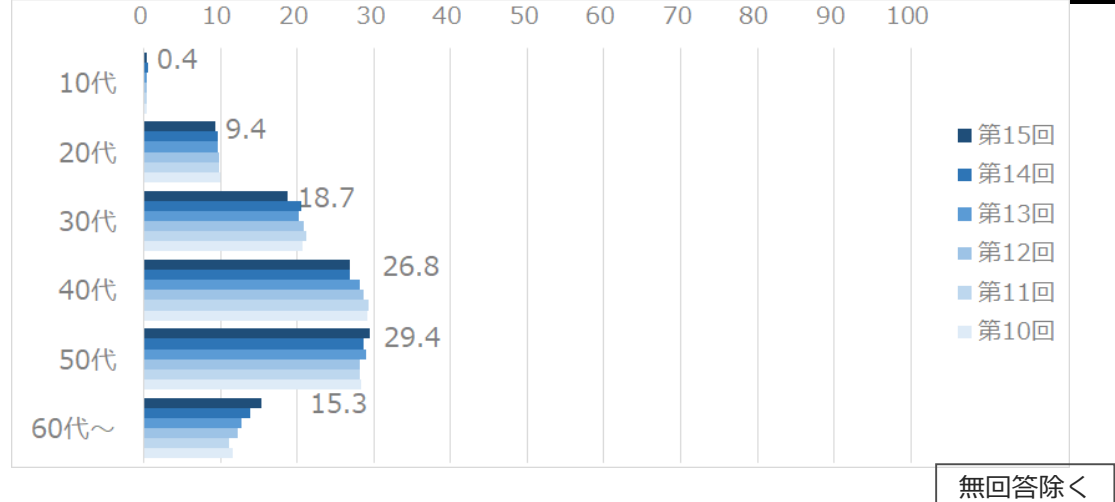
＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- 皆さまから頂いたご意見については、担当主管部へ連絡し、対策を検討してまいります。安全衛生推進協議会やイントラネット、デジタルサイネージ等で、ご意見に対する当社からの回答、進捗状況をお伝えしています。
- 引き続き、皆さまが安心して作業ができる現場となるよう、労働環境を改善してまいります。

アンケート項目・結果

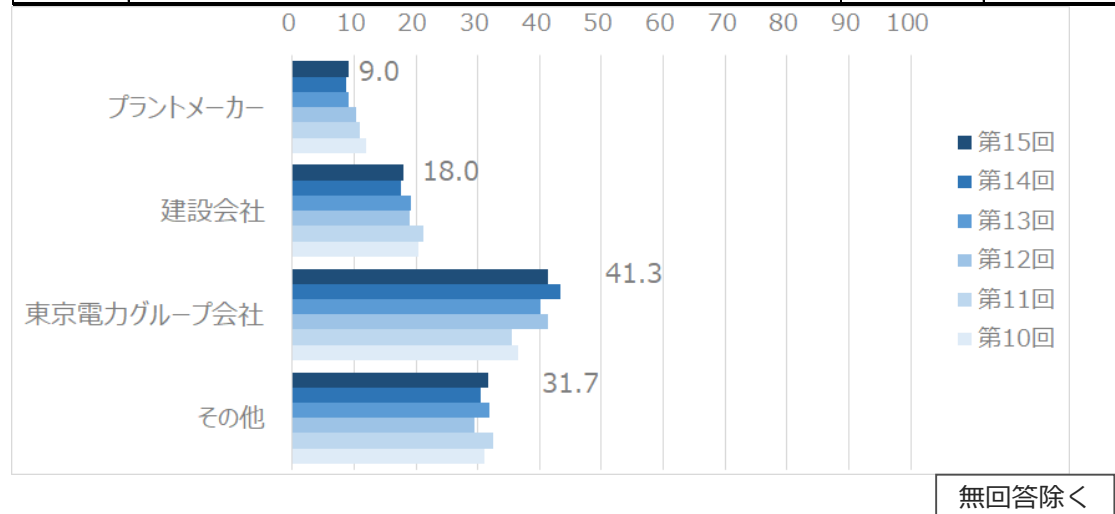
(1) 年齢構成

No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	10代		22	0.4
2	20代		515	9.4
3	30代		1,021	18.6
4	40代		1,465	26.6
5	50代		1,606	29.2
6	60代～		833	15.2
	無回答		36	0.7
	集計総数		5,498	100.0



(2) 企業種別

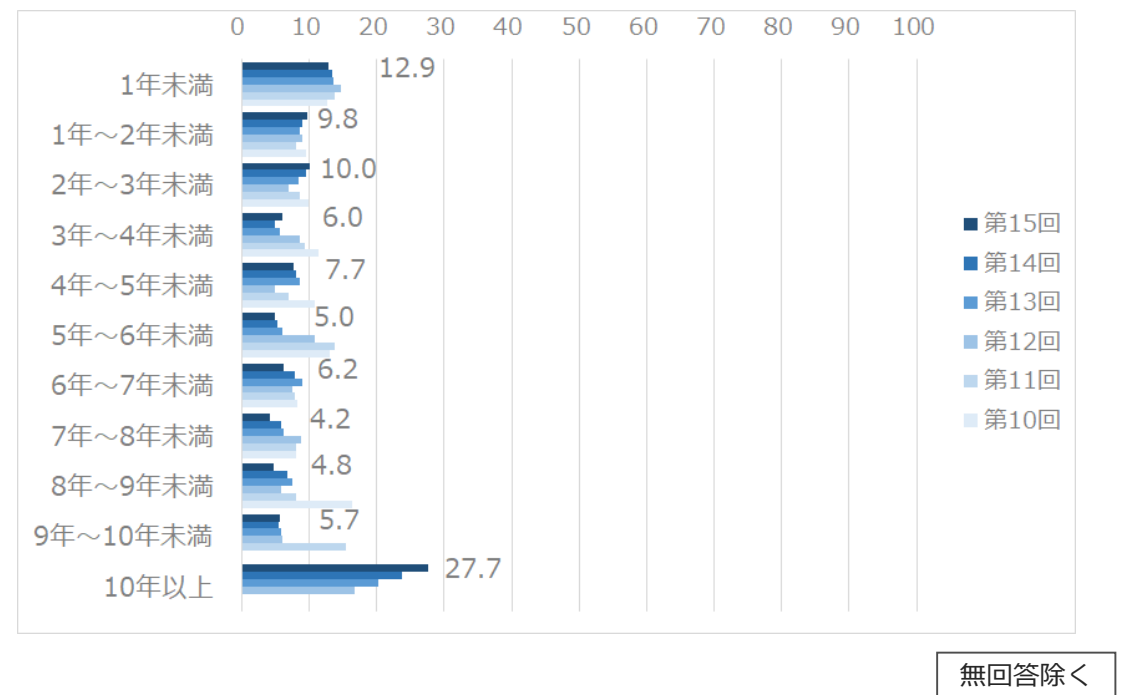
No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	プラントメーカー		484	8.8
2	建設会社		971	17.7
3	東京電力グループ会社		2,231	40.6
4	その他		1,714	31.2
	無回答		98	1.8
	集計総数		5,498	100.0



アンケート項目・結果

(3) 震災以降の福島第一での作業経験年数

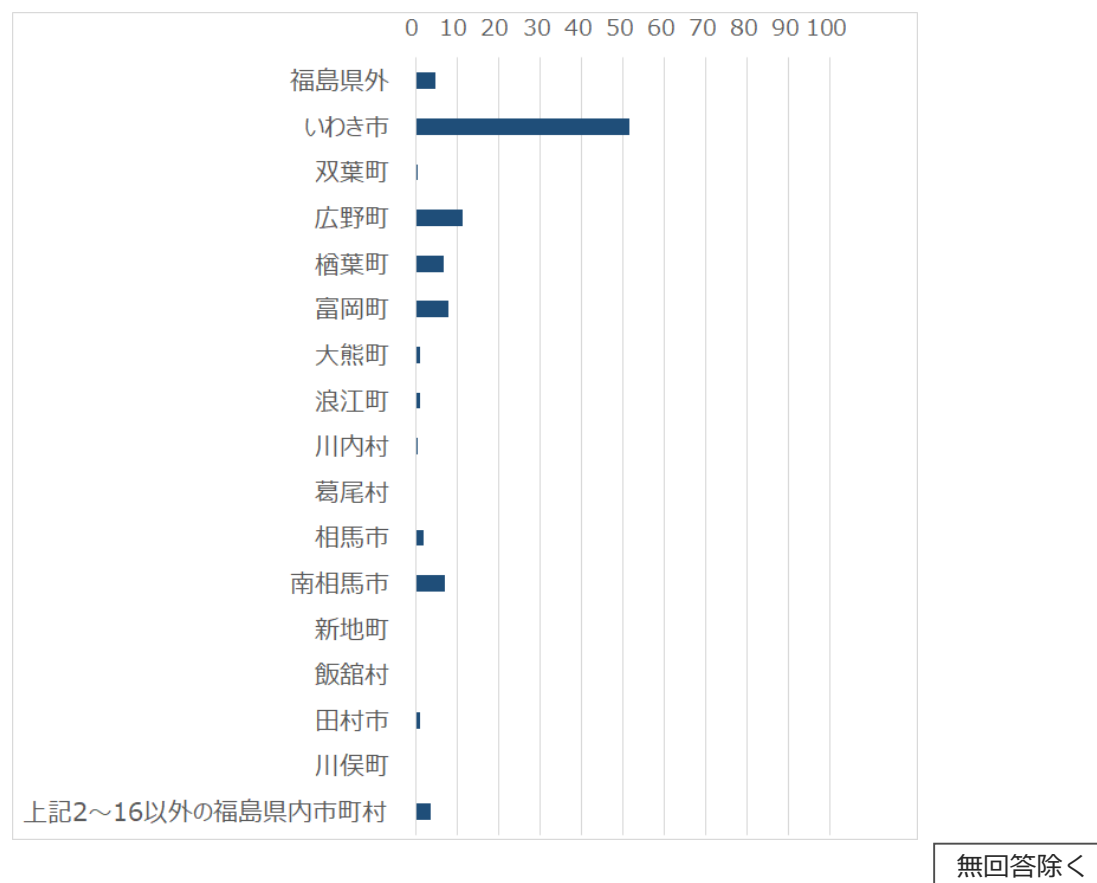
No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	1年未満		692	12.6
2	1年～2年未満		527	9.6
3	2年～3年未満		536	9.7
4	3年～4年未満		323	5.9
5	4年～5年未満		414	7.5
6	5年～6年未満		269	4.9
7	6年～7年未満		333	6.1
8	7年～8年未満		224	4.1
9	8年～9年未満		260	4.7
10	9年～10年未満		307	5.6
11	10年以上		1,490	27.1
12	無回答		123	2.2
	集計総数		5,498	100.0



アンケート項目・結果

(8) 作業時の装備

No.	カテゴリー名	【無回答を含む】	n	%
1	カバーオール+アノラック+全面マスク(Rゾーン装備)		308	5.6
2	カバーオール+半面マスクまたは全面マスク (Yゾーン装備)		1,814	33.0
3	一般作業服+DS2マスク (Gゾーン装備)		2,526	45.9
4	一般作業服 (上記の1～3以外)		719	13.1
	無回答		131	2.4
	集計総数		5,498	100.0



相談窓口について

健康支援相談窓口

■ 行政にご相談したい場合

(原則として、相談内容は当社に通知されません)

- (独)労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター
東京電力福島第一原子力発電所構内に健康支援相談窓口を
開設し、第一原発で働く全ての方(事業者、作業員等)の健康
相談等を無料で実施しています。

・健康支援相談窓口の概要

設置場所：東京電力福島第一原子力発電所 (協力企業棟2階
健康情報ひろば)

設置日程：週1回程度開催

対象者と相談内容：

作業員

健康や放射線に関する相談、生活習慣病の改善でアドバ
イスを受けたい方

事業者(元請業者、関係請負事業者)・衛生管理スタッフ

健康診断結果に基づき専門医からの就業判定、労働者の
健康管理(メンタルヘルスを含む)の相談、健康改善プ
ランの提供、長時間労働者及びストレスチェックに係る
高ストレス者に対する面接指導など

相談対応者：医師、保健師

住所：福島県いわき市内郷綴町沼尻3 福島労災病院内

電話：0120-631-637(フリーダイヤル)

FAX：0246-38-3209

メール：satellite@fukushimas.johas.go.jp

長期的な健康管理に関する相談窓口

■ 当社にご相談したい場合

担当：原子力保健安全センターグループ

電話：××-××××-××××(実際に現場に掲示されるもの
には連絡先が記載されています)

(受付時間：平日8:40～12:00、13:00～17:20)

作業員の皆さまだけでなく、ご家族の方々も相談していただ
けます。

■ 行政にご相談したい場合

(原則として、相談内容は当社に通知されません)

原則として福島第一原子力発電所における緊急作業に従事
した方々及びそのご家族の方々

- (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

労働者放射線障害防止研究センター 健康相談窓口

電話：0120-808-609

(受付時間：平日9:30～17:00)

メールアドレス：soudan-rad@h.jniosh.johas.go.jp

予約をすれば対面による相談も可能です。

放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究 (NEWS)

- (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

労働者放射線障害防止研究センター NEWS研究本部

電話：0120-865-618

(受付時間：平日9:00～17:00)

メールアドレス：info.newstudy@h.jniosh.johas.go.jp

疫学研究で実施している健康診断を無料で受けられます。

相談窓口について

就労形態に関する相談窓口

■ 行政にご相談したい場合

(原則として、相談内容は当社に通知されません)

・偽装請負に関するご相談

福島労働局職業安定部 需給調整事業室

電話：024－529－5746 (受付時間：平日 8:30～17:15)

来庁相談も可能

・労働条件に関するご相談

富岡労働基準監督署 富岡総合労働相談コーナー

電話：0240－22－3003 (受付時間：平日 8:30～17:15)

来庁相談も可能

・外国語による労働条件に関するご相談

厚生労働省及び労働局・労働基準監督署では、外国語による労働条件に関する相談ダイヤルや相談コーナー(対面)設けています。

＜外国人労働者向け相談ダイヤル＞ 担当：厚生労働省

言語	開設曜日	開設時間	電話番号
英語	月～金	10:00～15:00 (12:00～13:00は除く)	0570-001-701
ポルトガル語			0570-001-703
スペイン語			0570-001-704

＜労働条件相談ほっとライン＞ 担当：厚生労働省の委託事業

言語	開設曜日	開設時間	電話番号
日本語	月～日 (毎日)	平日 (月～金) (17:00～22:00) 土日・祝日 (9:00～21:00)	0120-811-610
英語			0120-531-401
ポルトガル語	月～土		0120-531-403
スペイン語	木・金・土		0120-531-404

■ 行政にご相談したい場合（続き）

＜外国人労働者相談コーナー＞ 担当：労働局・労働基準監督署
開設曜日、開設時間につきましては、それぞれの連絡先にお問い合わせください。

なお、外国人労働者相談コーナーが設置されていない労働基準監督署においても相談を受け付けていますが、できるだけ通訳できる方とご一緒に訪問されるようお願いします。

都道府県	設置箇所	対応言語	電話番号
茨城	茨城労働局監督課	英語、スペイン語	029-224-6214
栃木	栃木労働局監督課	英語、スペイン語、ポルトガル語	028-634-9115
群馬	太田労働基準監督署	スペイン語、ポルトガル語	0276-45-9920
埼玉	埼玉労働局監督課	英語	048-816-3596
千葉	千葉労働局監督課	英語	043-221-2304
東京	東京労働局外国人特別相談・支援室	英語	03-5361-8728
	新宿労働基準監督署	英語	03-5338-5582
神奈川	神奈川労働局監督課	英語、スペイン語、ポルトガル語	045-211-7351
	厚木労働基準監督署	スペイン語	046-401-1641

■ 当社にご相談したい場合

・賃金割増等に関するご相談

担当：調達部

メール：×××××-××××××@×××××.××.×× (実際に現場に掲示されるものには連絡先が記載されています)

相談窓口について

内部被ばく線量修正に関するご相談及び個人線量計の 不正使用に関する相談窓口

■ 当社にご相談したい場合

担当：原子力保健安全センターグループ

電話：××-××××-××××(実際に現場に掲示されるもの
には連絡先が記載されています)
(受付時間：平日9:00～17:00)

企業倫理上の問題に関する相談窓口

■ 弁護士にご相談したい場合

(ご本人が希望される場合を除き、相談内容は当社に通知されません)

担当：鈴木正勇弁護士(濱田法律事務所)

メール：××-××××××@××××××.×××(実際に現場に掲示
されるものには連絡先が記載されています)

■ 当社にご相談したい場合

担当：東京電力グループ企業倫理相談窓口

(経営企画ユニット 総務・法務室 企業倫理グループ)

メール：×××××-××××××@×××××.××.×× (実際に現場に
掲示されるものには連絡先が記載されています)